

2010年度 決算説明資料

2011年5月11日
旭化成株式会社

1. 2010年度実績

主要決算数値 P4～P5

連結損益計算書 P6

金融収支・有利子負債残高 P7

特別損益 P8

セグメント別売上高・営業利益 P9～P12

連結貸借対照表 P13

連結キャッシュ・フロー計算書、 P14

設備投資額、減価償却費、研究開発費

2. 2011年度業績予想

当期の業績予想 P16

セグメント別売上高・営業利益 P17～P19

3. 参考資料

セグメント別業績推移 P21～P22

セグメント別設備投資額、 P23

減価償却費、研究開発費

設備投資件名 P24

セグメント別概況 P25～P37

連結包括利益計算書 P38

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

1. 2010年度実績

主要決算数値(1)

(億円)

	09年度 a	10年度	
		実績 b	最新予想* c
売上高	14,336	15,984	16,030
営業利益	576	1,229	1,200
経常利益	564	1,182	1,140
当期純利益	253	603	570

対前年度 (b-a)		対最新予想 (b-c)	
増減額	増減率	増減額	増減率
1,648	11.5%	-46	-0.3%
653	113.3%	29	2.4%
619	109.7%	42	3.7%
350	138.4%	33	5.8%

* 2011年2月4日発表の業績予想

	10/3月末	11/3月末
総資産	13,689	14,259
自己資本	6,333	6,636
有利子負債残高	2,646	2,539
D/Eレシオ	0.42	0.38

増減
570
302
-107
-0.04

主要決算数値(2)

	09年度	10年度
1株当たり当期純利益(EPS)	18.08 円	43.11 円
1株当たり年間配当金	10 円	11 円
配当性向	55.3 %	25.5 %
総資産利益率(ROA)	1.8 %	4.3 %
自己資本利益率(ROE)	4.1 %	9.3 %
1株当たり純資産(BPS)	452.91 円	474.59 円

<連結対象範囲>

連結子会社数	98	101
持分法適用会社数	49	49

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	41,175	47,450
為替レート(相場平均:¥/US\$)	93	86

期末人員	25,085 人	25,016 人
------	----------	----------

連結損益計算書

(上段:百分率、% 下段:金額、億円)

	09年度	10年度	増減	増減率
売上高	100.0% 14,336	100.0% 15,984	1,648	11.5 %
売上原価	76.8% 11,007	74.7% 11,936	930	8.4 %
売上総利益	23.2% 3,329	25.3% 4,047	718	21.6 %
販管費	19.2% 2,753	17.6% 2,818	65	2.4 %
営業利益	4.0% 576	7.7% 1,229	653	113.3 %
営業外損益	-13	-47	-35	
(内、金融収支)	(-4)	(0)	(4)	
(内、持分法投資利益)	(12)	(22)	(11)	
(内、為替差損)	(-7)	(-39)	(-32)	
(内、訴訟関連費用)	(-)	(-19)	(-19)	
経常利益	3.9% 564	7.4% 1,182	619	109.7 %
特別損益	-103	-199	-96	
税前利益	3.2% 461	6.2% 983	523	113.5 %
法人税等	-205	-367	-162	
少数株主損益	-3	-14	-11	
当期純利益	1.8% 253	3.8% 603	350	138.4 %

(1) 金融収支

(億円)

	09年度	10年度	増減
支払利息	-37	-33	4
受取利息	11	11	0
受取配当金	23	23	-0
その他	-1	-1	0
合 計	-4	0	4

(2) 有利子負債残高

(億円)

	10/3月末	11/3月末	増減
短期借入金	940	1,089	149
コマーシャル・ペーパー	190	230	40
長期借入金	1,219	917	-302
社債	250	250	-
リース債務	47	53	6
合 計	2,646	2,539	-107

特別損益

(億円)

	09年度	10年度	増減
投資有価証券売却益	1	4	3
固定資産売却益	2	5	3
貸倒引当金戻入額	－	1	1
持分変動利益	2	－	－2
事業譲渡益	－	7	7
仲裁裁定金*	65	－	－65
特別利益	69	17	－52
投資有価証券売却損	－	4	4
投資有価証券評価損	19	7	－13
固定資産処分損	29	49	19
減損損失	8	24	16
環境対策費	15	12	－3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	12	12
災害による損失	－	8	8
事業構造改善費用	100	100 [†]	－0
特別損失	172	216	43
特別損益	－103	－199	－96

* 米CoTherix社からの仲裁裁定金

† アンモニア、ベンゼンの生産停止に伴う費用等

セグメント別売上高・営業利益(1)

(億円)

	売上高			営業利益			10年度最新予想 [†]	
	09年度	10年度	増減	09年度	10年度	増減	売上高	営業利益
ケミカル	6,221	7,422	1,201	261	644	383	7,430	635
住宅	3,897	4,092	195	253	365	111	4,130	330
医薬・医療	1,132	1,164	32	40	70	30	1,150	75
繊維	1,012	1,088	76	-28	42	70	1,080	40
エレクトロニクス	1,427	1,583	156	72	143	70	1,600	150
建材	470	474	4	12	21	9	490	25
その他*	176	160	-16	18	17	-1	150	15
消去又は全社	-	-	-	-53	-72	-19	-	-70
合 計	14,336	15,984	1,648	576	1,229	653	16,030	1,200

* 10年度第1四半期より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

† 2011年2月4日発表の業績予想

セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高) **AsahiKASEI**

(億円)

	09年度			10年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカル	6,221	2,437	39.2%	7,422	3,045	41.0%	608	24.9%
住宅	3,897	—	—	4,092	—	—	—	—
医薬・医療	1,132	252	22.3%	1,164	266	22.9%	14	5.5%
繊維	1,012	331	32.7%	1,088	374	34.4%	43	12.9%
エレクトロニクス	1,427	664	46.5%	1,583	796	50.3%	132	19.8%
建材	470	—	—	474	—	—	—	—
その他*	176	19	10.9%	160	12	7.5%	-7	-37.3%
合 計	14,336	3,704	25.8%	15,984	4,493	28.1%	789	21.3%
東アジア地域 [†] への売上高		2,373	16.6%		2,949	18.5%	577	24.3%
(内、中国への売上高)		1,343	9.4%		1,696	10.6%	354	26.3%

<参考>

住宅・建材を除いた売上高 9,968 3,704 37.2% 11,417 4,493 39.4%

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

† 中国、韓国、台湾

セグメント別売上高増減要因

(億円)

	09年度	10年度	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカル	6,221	7,422	471	546	-127	184	1,201
住宅	3,897	4,092	163	69	-	-37	195
医薬・医療	1,132	1,164	58	-60	-21	34	32
繊維	1,012	1,088	110	-2	-20	-32	76
エレクトロニクス	1,427	1,583	342	-186	-28	0	156
建材	470	474	15	-11	-	0	4
その他*	176	160	-16	0	0	0	-16
合 計	14,336	15,984	1,143	357	-196	149	1,648

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業利益増減要因

(億円)

	09年度	10年度	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	261	644	87	546	-127	-251	383
住宅	253	365	42	69	-	0	111
医薬・医療	40	70	52	-60	-21	39	30
繊維	-28	42	33	-2	-20	39	70
エレクトロニクス	72	143	182	-186	-28	74	70
建材	12	21	6	-11	-	13	9
その他*	18	17	1	0	0	-2	-1
消去又は全社	-53	-72	-	-	-	-19	-19
合 計	576	1,229	404	357	-196	-107	653

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期決算より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	10/3月末	11/3月末	増減		10/3月末	11/3月末	増減
流動資産	6,604	7,557	952	負債	7,242	7,503	261
現金及び預金	939	1,403	464	流動負債	4,348	4,899	551
受取手形及び売掛金	2,389	2,734	345	固定負債	2,894	2,604	-290
棚卸資産	2,511	2,562	52	純資産	6,447	6,756	309
その他	765	857	92	株主資本	6,129	6,594	465
固定資産	7,085	6,702	-383	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,475	4,184	-291	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	347	311	-36	利益剰余金	4,321	4,787	466
投資その他の資産	2,263	2,208	-56	自己株式	-20	-21	-1
				その他の包括利益累計額	205	42	-162
				少数株主持分	113	120	7
資産合計	13,689	14,259	570	負債純資産合計	13,689	14,259	570

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	09年度	10年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,693	1,481
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-1,002	-788
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	691	693
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-751	-261
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	6	-27
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-53	404
現金及び現金同等物の期首残高⑦	981	931
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	4	9
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	931	1,344

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	09年度	10年度
設備投資額(有形)	779	601
設備投資額(無形)	61	59
設備投資額計	840	660
減価償却費	873	852
研究開発費	629	623

2. 2011年度業績予想

当期の業績予想

(億円)

	09年度	10年度			11年度(予)			増減
		上	下	計a	上	下	計b	b-a
売上高	14,336	7,648	8,336	15,984	8,270	8,970	17,240	1,256
営業利益	576	635	594	1,229	505	695	1,200	-29
経常利益	564	596	586	1,182	505	720	1,225	43
当期純利益	253	285	318	603	285	405	690	87

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	41,175	46,200	48,700	47,450	60,000	60,000	60,000	12,550
為替レート(相場平均¥/\$)	93	89	82	86	80	80	80	-6

	09年度	10年度	11年度
1株当たり年間配当金	10円	11円	13円 (予定)
配当性向	55.3%	25.5%	26.4%

セグメント別売上高

(億円)

	10年度			11年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	3,650	3,773	7,422	4,000	4,000	8,000	578
住宅	1,735	2,357	4,092	1,920	2,530	4,450	358
医薬・医療	578	586	1,164	610	630	1,240	76
繊維	546	542	1,088	550	580	1,130	42
エレクトロニクス	832	752	1,583	830	860	1,690	107
建材	234	240	474	270	270	540	66
その他*	74	86	160	90	100	190	30
合 計	7,648	8,336	15,984	8,270	8,970	17,240	1,256

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	10年度			11年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	373	270	644	270	275	545	-99
住宅	101	264	365	130	290	420	55
医薬・医療	42	29	70	45	35	80	10
繊維	23	19	42	15	25	40	-2
エレクトロニクス	107	35	143	75	80	155	12
建材	11	10	21	15	20	35	14
その他*	8	9	17	10	10	20	3
消去又は全社	-30	-42	-72	-55	-40	-95	-23
合 計	635	594	1,229	505	695	1,200	-29

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期決算より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

当期業績の見通し

セグメント	業績(億円)		見通し
	10年度	11年度予	
ケミカル	売上高 7,422 営業利益 644	8,000 545	モノマー系事業のアジア向け販売は引き続き堅調に推移し、市況も高水準で推移する見込みだが、原燃料価格高騰による交易条件の悪化などにより、セグメント全体で増収・減益となる見通し。
住宅	売上高 4,092 営業利益 365	4,450 420	請負事業において好調な受注を背景に引渡戸数が増加することなどにより、増収・増益となる見通し。
医薬・医療	売上高 1,164 営業利益 70	1,240 80	医薬事業は、研究開発費やMR(医薬情報担当者)増強による販売管理費の増加の影響を受けるものの、血液凝固阻止剤「リコモジュリン」などの販売量の増加などを見込む。医療事業は、ポリスルホン膜人工腎臓「APS」やウイルス除去フィルター「プラノバ」の販売量の増加などを見込み、セグメント全体で増収・増益となる見通し。
繊維	売上高 1,088 営業利益 42	1,130 40	ポリウレタン弾性繊維「ロイカ」、スパンボンド、ナイロン66繊維「レオナ」など主要製品の販売量の増加を見込むが、原燃料価格高騰の影響を受け、増収・微減益となる見通し。
エレクトロニクス	売上高 1,583 営業利益 143	1,690 155	電子材料系事業は販売量を伸ばすものの、設備増強による減価償却費の増加、原燃料価格高騰の影響を受ける見通し。電子部品系事業は円高の影響を受けるものの、スマートフォンをはじめとする携帯端末向けLSIの販売量を伸ばし、セグメント全体では増収・増益の見通し。
建材	売上高 474 営業利益 21	540 35	住建事業においてコストダウンの継続と共に住宅資材分野での拡販を行い、基礎事業や断熱材事業においても販売量の増加を見込むことなどにより、増収・増益となる見通し。

3. 参 考 資 料

セグメント別売上高推移

(億円)

	09年度				10年度				11年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	1,329	1,603	1,590	1,698	1,784	1,866	1,899	1,874	4,000	4,000
住宅	585	992	960	1,360	645	1,090	905	1,452	1,920	2,530
医薬・医療	285	278	296	273	287	290	305	281	610	630
繊維	224	263	259	266	265	281	271	271	550	580
エレクトロニクス	315	370	374	368	409	422	384	367	830	860
建材	116	130	124	101	110	124	137	103	270	270
その他*	39	57	38	43	35	39	37	49	90	100
合 計	2,893	3,693	3,641	4,109	3,535	4,113	3,939	4,396	8,270	8,970

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業損益推移

(億円)

	09年度				10年度				11年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	22	93	103	42	153	220	166	105	270	275
住宅	-30	71	67	145	-9	110	79	185	130	290
医薬・医療	31	3	29	-23	33	8	35	-6	45	35
繊維	-15	-14	-0	1	12	11	13	6	15	25
エレクトロニクス	-6	34	26	18	52	55	32	4	75	80
建材	-0	6	11	-5	3	8	13	-3	15	20
その他*	4	6	1	7	3	5	2	7	10	10
消去又は全社	-10	-17	-17	-9	-20	-10	-28	-14	-55	-40
合 計	-3	183	220	177	228	407	310	284	505	695

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期決算より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	09年度	10年度	11年度 予想	09年度	10年度	11年度 予想	09年度	10年度	11年度 予想
ケミカル	276	232	300	324	319		140	155	
住宅	60	63	80	43	43		21	20	
医薬・医療	92	74	140	122	114		184	165	
繊維	46	37	45	77	70		38	32	
エレクトロニクス	228	203	160	236	239		184	184	
建材	12	17	45	33	28		11	11	
その他*	9	10	5	8	9		2	3	
消去又は全社	117	25	25	30	31		48	54	
合 計	840	660	800	873	852	860	629	623	660

<参考>

投資有価証券の取得 113[†] 76 50
 (支払ベース、上記設備投資額の外数)

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

† タイPTT社とのAN、MMAプラント新設計画等

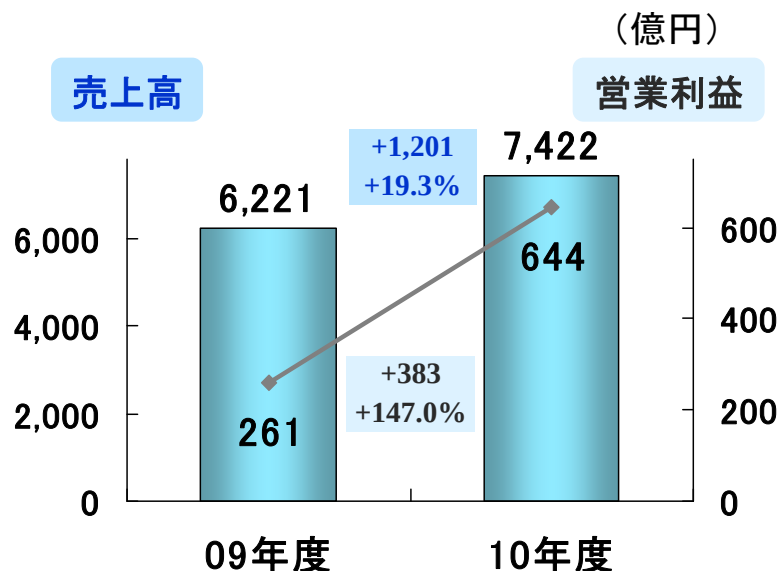
<10年度完工件名>

- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポアTM」製造設備新設
(10/4、2,000万m²/年、日向)
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバTM」組立工場生産能力増強(大分で新設)
(09/4～10/5、40,000m²/年、大分)
- ・アフエシス(血液浄化治療用機器)新工場建設
(09/9～10/9、大分)
- ・コラゲナーゼ製剤「ザイアフレックスTM」の日本における独占的開発・製造・販売権取得
(11/3)
- ・LSI製造設備能力増強(延岡)

<10年度末時点 工事中件名>

- ・「ハイポアTM」製造設備能力増強
(11/4、2,000万m²/年、
11/6、1,500万m²/年、日向)
- ・医療材料研究所新設
(10/10～11/6、延岡)
- ・ナイロン66樹脂「レオナTM」の高融点グレード量産体制確立のための生産設備改造
(10/11～12/3、延岡)
- ・木質バイオマス発電設備新設
(10/2～12/7、延岡)

○: 投資額30億円以上



<概況>

汎用系事業、高付加価値系事業共に業績を伸ばし、前期比増収増益となった。

・汎用系事業

<モノマー系事業>

好調なアジア需要に支えられ、アクリロニトリルやアジピン酸などの市況が高水準で推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<ポリマー系事業>

自動車や家電向けの需要回復により販売量が増加したことなどから、前期比増収、増益となった。

・高付加価値系事業

「サランラップTM」などの消費材事業や添加剤事業、コーティング事業などが堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

・中国杭州市のアジア最大の膜式浄水設備に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザTM」の採用が決定。(6月)

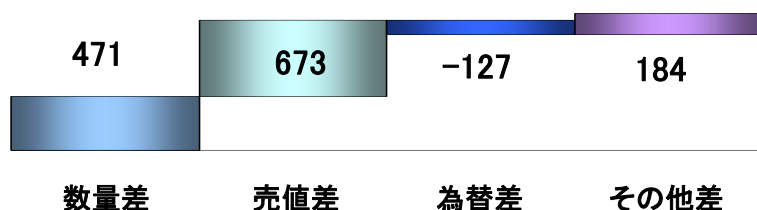
・アンモニア、ベンゼンの生産停止を決定。(8月、2012年3月定修時に停止予定)

・シンガポールでの溶液重合法SBRプラントの建設を決定。(10月)

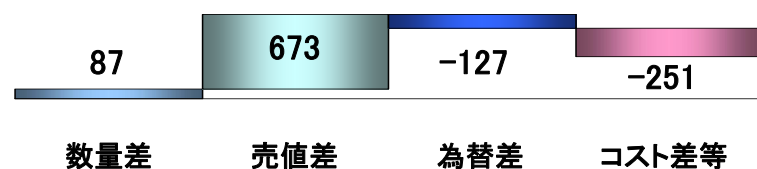
・韓国でのアクリロニトリルの増設を決定。(1月)

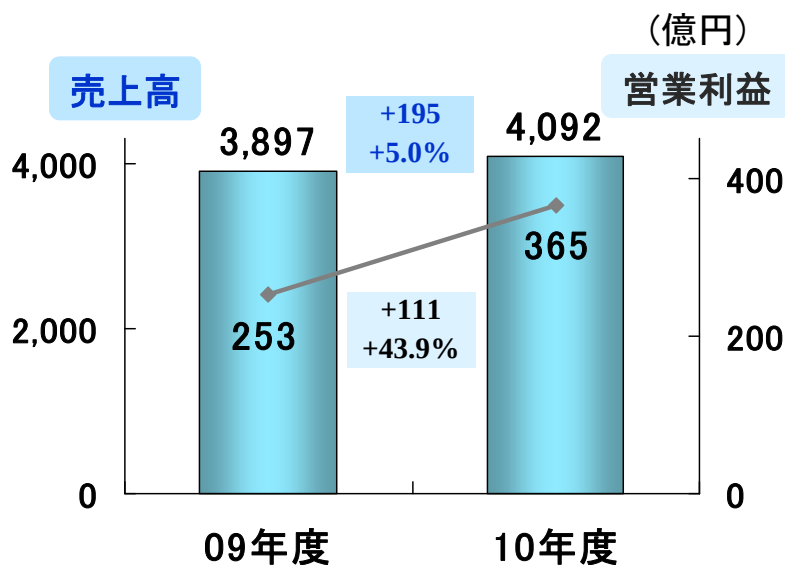
・水島地区のエチレンセンターの統合、一体運営のため、(株)三菱ケミカルホールディングスと西日本エチレン有限責任事業組合(LLP)の設立を決定。(2月、2011年4月よりLLPによる運営開始)

売上高増減分析



営業利益増減分析





事業別差異分析

		09年度(a)		10年度(b)		差異(b-a)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負・分譲事業	建築請負	2,823		3,021		198	
	分譲	321		278		-44	
	他	19		25		7	
小計		3,164	192	3,324	303	161	111
住宅周辺		734	62	768	62	34	0
合計		3,897	253	4,092	365	195	111

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出

<概況>

・建築請負・分譲事業

- ・好調な受注実績を反映し、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加したことに加え、引き続きコストダウンに努めたことなどから、前期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、新商品の発売や政府の住宅取得促進施策の効果などにより、順調に受注戸数を伸ばし、前期比15.5%の大幅増となった。

・住宅周辺事業(リフォーム、不動産など)

住宅ローン事業が「フラット35」の利用増加による自社証券化ローンの利用減少の影響を受けたが、リフォーム事業の受注拡大や不動産事業の賃貸管理戸数増などにより、前期比増収、営業利益は前期並となった。

<トピックス>

- ・「孫共育」をキーワードに、親世帯・子世帯が自立しながら交流と協力を促す、新・二世帯住宅「i_co_i™」(イコイ)を発売。(5月)
- ・家族の住み継ぎを想定した新たな賃貸併用二世帯住宅「ヘーベルハウス™ RONDO」(ロンド)を発売。(7月)
- ・居心地の良いリビング空間を提案する「ヘーベルハウス™ F.lower living(フラワーリビング)のある家」を発売。(8月)
- ・都市向けに一層の進化を遂げた3階建て住宅「ヘーベルハウス™ FREX monado」(フレックス モナド)を発売。(11月)
- ・旭化成住工(株)にて「ヘーベルハウス™ フレックス」に使用する鉄骨躯体の生産能力を増強。(12月)

1. 売上高、受注高の状況

(単位: 億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.7%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.3%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	1,219 (▲10.4%)	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	1,945 (▲4.1%)	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	3,164 (▲6.6%)	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	1,360 (11.6%)	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	1,965 (1.0%)	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	3,324 (5.1%)	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11予	通期	3,600 (1.6%)	3,345 (10.7%)	250 (▲10.0%)	25	3,620 (8.9%)	830 (8.1%)	4,450 (8.7%)	3,850

* 他: 損害保険販売手数料収入等

2. 2010年度用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄: 前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸建	低層	1,806	3.1%	5,870	-0.6%	1,982	8.3%	6,702	11.8%
	中層	733	9.0%	2,820	15.3%	960	30.8%	3,706	25.4%
	小計	2,539	4.8%	8,690	4.0%	2,942	14.7%	10,408	16.3%
集合系	低層	156	22.3%	1,421	17.3%	210	40.7%	1,829	29.4%
	中層	326	19.8%	2,887	19.8%	392	10.9%	3,358	7.6%
	小計	482	20.6%	4,308	19.0%	603	19.7%	5,187	14.4%
合計		3,021	7.0%	12,998	8.6%	3,545	15.5%	15,595	15.7%
分譲事業等		278	-13.6%	382	-26.1%	—	—	—	—
他*		25	34.5%	—	—	—	—	—	—
合計		3,324	5.1%	13,380	7.1%	3,545	15.5%	15,595	15.7%
関係会社等		768	4.6%	—	—	—	—	—	—
総合計		4,092	5.0%	13,380	7.1%	3,545	15.5%	15,595	15.7%

* 他: 損害保険販売手数料収入等

3. 2011年度用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数予想(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸建	低 層	1,952	8.1%	6,320	7.7%	1,982	0.0%	6,700	0.0%
	中 層	842	14.9%	3,240	14.9%	992	3.3%	3,830	3.4%
	小 計	2,794	10.0%	9,560	10.0%	2,974	1.1%	10,530	1.2%
集合系	低 層	181	15.9%	1,540	8.3%	225	6.8%	1,960	7.2%
	中 層	370	13.5%	3,160	9.5%	401	2.2%	3,390	0.9%
	小 計	551	14.3%	4,700	9.1%	626	3.8%	5,350	3.1%
合計		3,345	10.7%	14,260	9.7%	3,600	1.6%	15,880	1.8%
分譲事業等		250	-10.0%	410	7.3%	—	—	—	—
他 *		25	-1.9%	—	—	—	—	—	—
合計		3,620	8.9%	14,670	9.6%	3,600	1.6%	15,880	1.8%
関係会社等		830	8.1%	—	—	—	—	—	—
総合計		4,450	8.7%	14,670	9.6%	3,600	1.6%	15,880	1.8%

* 他:損害保険販売手数料収入等

4. 関係会社損益

(億円)

	09年度		10年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	331	36	345	37
旭化成不動産	380	14	404	15

<概況>

旭化成リフォーム

(10年度実績)

人員増強や政策効果などにより、太陽光発電をはじめとした設備・改装系工事を順調に伸ばし、前期比増収、増益となった。

(11年度予想)

人員増強により固定費負担は増加するが、設備・改装系工事の受注拡大を図り、増収、増益を目指す。

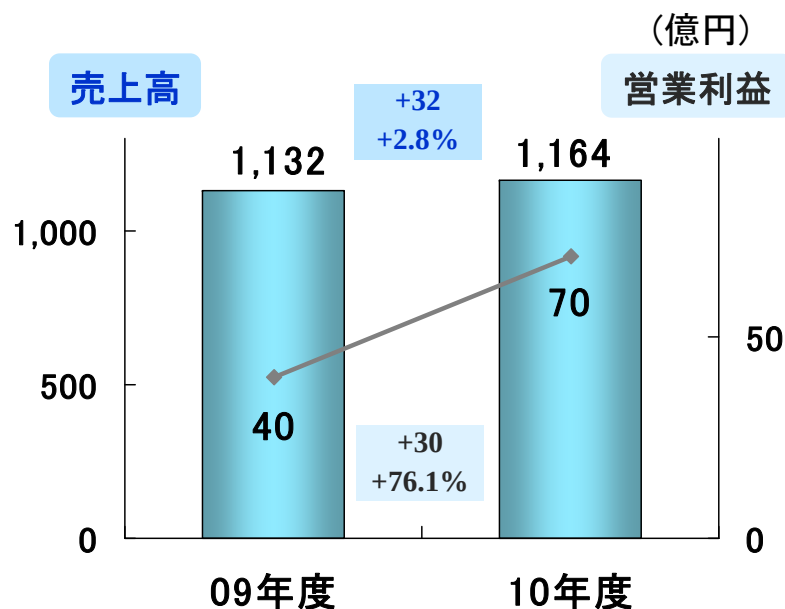
旭化成不動産

(10年度実績)

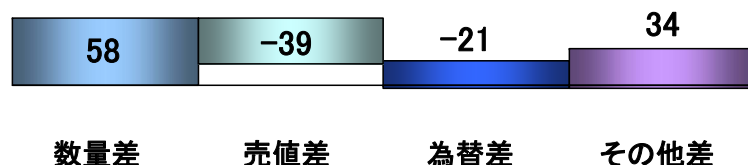
賃貸において家賃保証管理戸数を順調に伸ばしたことに加え、業務の効率化などを図ったことにより、前期比増収、増益となった。

(11年度予想)

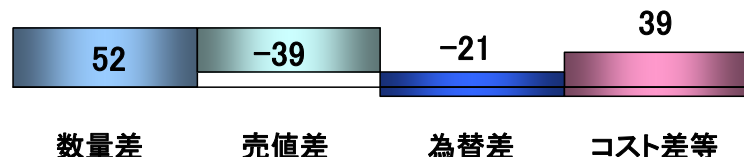
賃貸管理戸数の増加などにより、増収となる見通しだが、人員増による固定費負担増などにより、営業利益は横ばいとなる見通し。



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・医薬事業

医薬事業は、血液凝固阻止剤「リコモジュリンTM」が大幅に売上を伸ばし、薬価改定の影響を受けた排尿障害改善剤「フリバスTM」なども販売量を増やしたことから、前期比増収、増益となった。

・医療事業

各製品が円高の影響を強く受けたものの、ポリスルホン膜人工腎臓「APSTM」やアフェレシス(血液浄化療法)関連機器などの販売量が増加したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・脳梗塞急性期治療薬「AT-877注」の第Ⅲ相臨床試験の開鍵を実施。有効性について期待した成績が得られず。(4月)
- ・「プラノバTM」の組立工場(大分)竣工。(5月)
- ・変形性関節症治療剤ポリ硫酸ペントサンの前期第Ⅱ相臨床試験を開始。(5月)
- ・スイス・ノバルティスファーマ社とビスホスホネート剤「ゾレドロン酸」のライセンス契約を締結し、日本における独占的開発・販売権を取得。(6月)
- ・米サーモジェネシス社とのライセンス契約を改訂。自己フィブリン糊調製システムの国内での独占製造権等を取得。(6月)
- ・バイオ医薬品製造向け新商品の中空糸膜「BioOptimalTM MF-SL」を発売。(8月)
- ・医療材料の研究開発を行う医療材料研究所の新設を決定。(8月)
- ・新アフェレシス工場竣工。(9月)
- ・(株)メテクの100%子会社化を実施。(10月)
- ・骨粗鬆症治療薬MN-10-T(テリパラチド酢酸塩(PTH)「テリボンTM」)の国内製造販売承認申請。(10月)
- ・コンタクトレンズおよび関連製品の販売、研究・開発事業を米クーパービジョン社へ譲渡。(12月)
- ・米オキシリウム社開発のコラゲナーゼ製剤「ザイアフレックスTM」の日本における独占的開発・製造・販売権を取得。(3月)

1. 売上高内訳

(億円)

		09年度			10年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬系	医薬	267	267	534	269	286	554
	その他	40	34	74	36	22	58
	計	307	301	608	305	308	612
医療系*		256	268	524	273	279	551
医薬・医療 計		563	569	1,132	578	586	1,164

* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

<主要医薬品の国内売上高>

	09年度			10年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
フリバス TM	68	69	137	68	71	139
エルシトニン TM	73	67	140	69	65	134
ブレディニン TM	33	32	65	33	32	65
リコモジュリン TM	5	8	12	16	26	42
トレドミン TM	26	23	50	19	16	35
エリル TM	7	7	14	7	8	15

2. 主要医薬品の説明

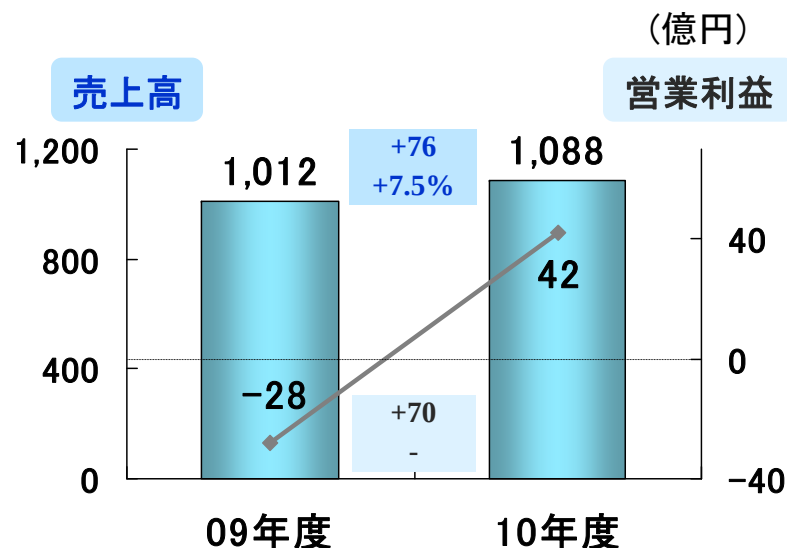
	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
フリバス TM	ナフトピジル	α 1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤
エルシトニン TM 注 20S エルシトニン TM 注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
ブレディニン TM	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、 腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤
リコモジュリン TM	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
トレドミン TM	ミルナシプラン塩酸塩	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤
エリル TM	ファスジル塩酸塩水和物	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤
ファムビル TM (マルホ株)に販売を委託)	ファムシクロビル	抗ヘルペスウィルス剤	带状疱疹	錠剤

3. 研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症
国 内	申請中の品目	MN-10-T注 (テリパラチド酢酸塩)	新成分新薬	副甲状腺ホルモン: PTH	骨粗鬆症
	フェーズⅢの品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症
		AK150注 (ポリ硫酸ペントサンナトリウム)	新成分新薬	変形性関節症治療剤	変形性関節症
海 外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DICを伴う敗血症
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ

探索・基礎研究

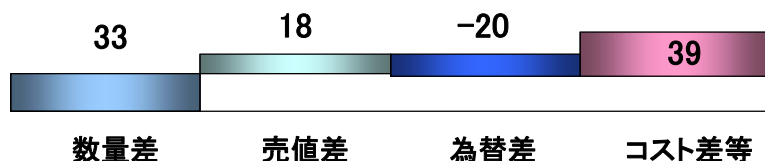
成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。



売上高増減分析



営業利益増減分析

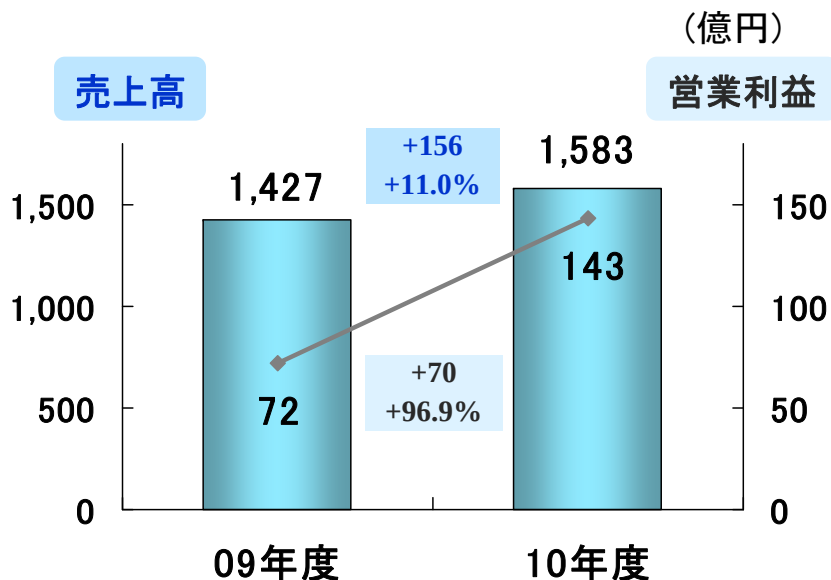


<概況>

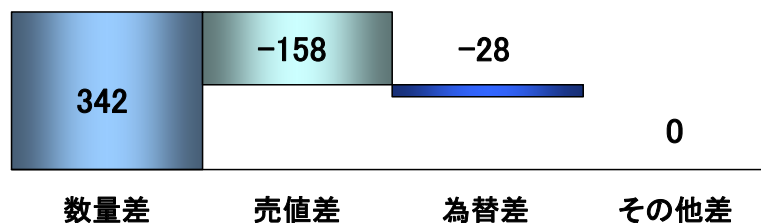
円高や原燃料価格高騰の影響を受けたものの、再生セルロース繊維「ベンベルグTM」のアウトターやインナーなど非裏地分野での販売量が大幅に増加し、ポリウレタン弾性繊維「ロイカTM」の機能糸、不織布事業の紙オムツ用途向け、ナイロン66繊維「レオナTM」の自動車資材用途向けも好調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

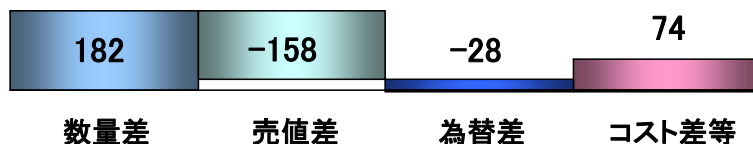
- ・帝人ファイバー(株)との学校体操服の循環型リサイクルプロジェクトの展開。(4月)
- ・電子機器向けに特殊不織布「プレシゼTM」を使用した、薄型・軽量ノイズ抑制シート「PULSHUTTM (パルシャットTM)」の販売を開始。(7月)
- ・タイにおけるスパンボンド不織布の製造販売会社の設立、製造設備の新設を決定。(3月)
- ・旭化成・中国ファッションデザイナークリエイティブ大賞の授与式及びファッションショー開催。(3月)



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

電子材料系事業が価格下落の影響などを受けたが、電子部品系事業が堅調に推移したことから、前期比増収、増益となった。

・電子部品系事業

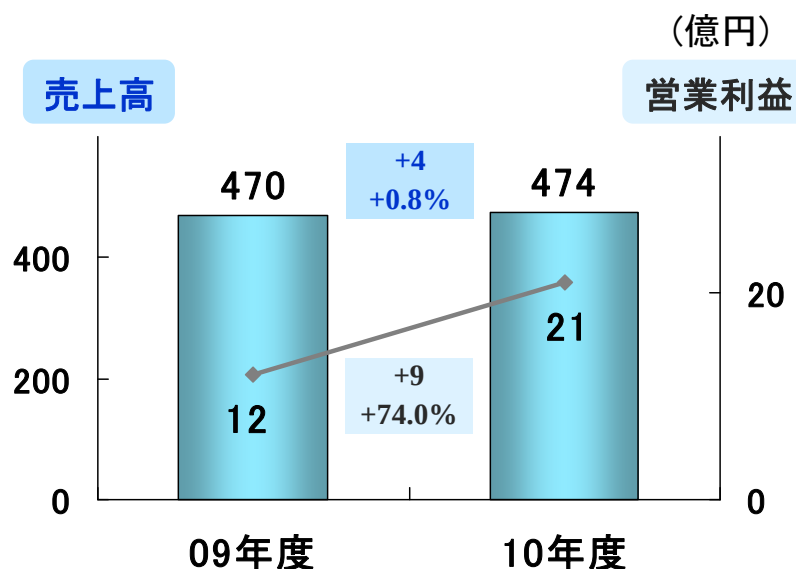
円高の影響を強く受けたものの、海外向けを中心に、スマートフォンをはじめとする携帯端末向けLSIの販売量が増加し、前期比増収、増益となった。

・電子材料系事業

リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポアTM」を中心に販売量が増加したが、価格の下落、原料価格高騰の影響、減価償却費の増加などから、前期比増収、微減益となった。

<トピックス>

- ・「ハイポアTM」の日向での新工場の竣工。(4月)
日向での生産能力増強を決定。(3月)
- ・従来品から2分の1以下の小型化を実現した、携帯機器用3軸電子コンパス新製品を発売。(4月)
- ・旭化成東光パワーデバイス(株)の100%子会社化を前倒しで実施。(10月)
- ・半導体用途のArF(フッ化アルゴン)露光対応ペリクルの上市及び半導体用ペリクルの生産能力増強。(10月)



<概況>

・住建事業(建築・住宅用資材)

固定費削減の効果などがあったものの、軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベルTM」の販売量が減少したことなどから、前期比減収、微減益となった。

・基礎事業

中小型パイル工法「EAZETTM」や「ATTコラムTM」の新規用途が好調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

・断熱材事業

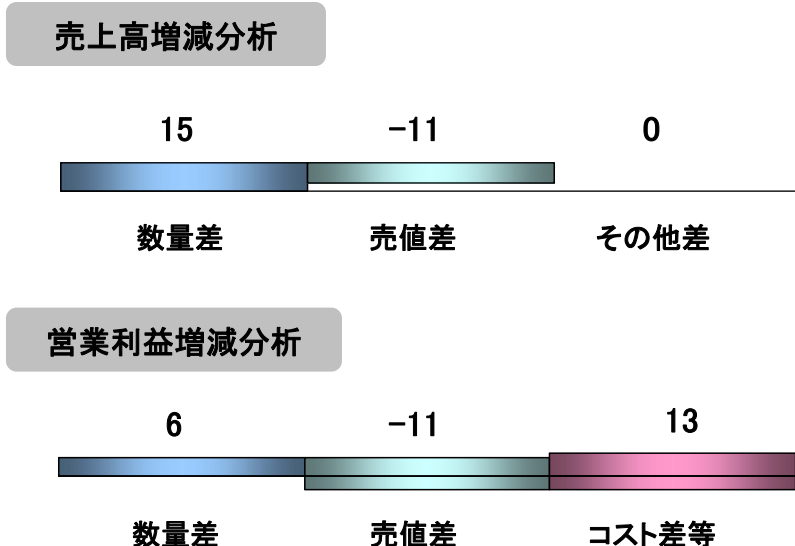
住宅エコポイントなどの政策を背景に、フェノールフォーム断熱材「ネオマTMフォーム」の販売量が大幅に増加したことなどにより、前期比増収、増益となった。

・構造資材事業

露出型弾性固定柱脚工法「ベースパックTM」などの販売量が増加したことなどにより、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・木造住宅床用断熱材「JupiiTM」(ジュピー)の販売開始。(10月)



AsahiKASEI

	09年度 (参考)	10年度	増減
少数株主損益調整前当期純利益①	256	617	361
_② 其他有価証券評価差額金	133	-71	-204
繰延ヘッジ損益	1	-0	-1
為替換算調整勘定	20	-71	-92
持分法適用会社に対する持分相当額	5	-24	-28
その他の包括利益合計②	159	-166	-325
包括利益(①+②)	415	451	36

410	440	30
5	10	6